

3 月度例会 個人 山行報告書		報告者	津田 廣一	参加 メンバー	CL:津田 廣一 利栄子 竜広
		報告日	03/20		
山 域	鈴鹿山脈	山行日	13 年 03 月 03 日(日)		
山 名	御在所岳*****				

山行目的	雪山ハイキングを楽しむ	コースタイム(天候:天気図記号)
------	-------------	------------------

配布先	ルート図(地図を見て正確に)
集会:12	
山行:1 リーダー	
原紙:集会担当者	



2.5 万分の 1 地図: 御在所

- 3/3 曇り
- 06:20 豊橋(自宅)発
- 07:40 御在所 SA(休憩 20分)
- 08:30 鈴鹿スカイラインゲート
- 08:50 ゲート発
- 09:05 裏道登山口
- 09:50 藤内小屋一本(10分)
- 10:30 アイゼン装着
- 11:15 国見峠手前一本(10分)
- 12:20 御在所岳山頂
- 13:30 山頂発
- 14:30 中道 7 合目一本(10分)
- 15:10 裏道分岐
- 15:50 裏道登山口
- 16:05 ゲート着
- 16:30~17:20 片岡温泉 湯
- 20:00 豊橋(自宅)着



山行報告 久しぶりに息子が帰郷する事になり、“山へ行きたい”との希望に、去年も行った御在所を選んだ。奇しくも、3月3日の雛祭りの日。前夜、帰って来た息子の靴にアイゼンの長さを調節し、準備完了。5時半起床、やや遅れて冬タイヤの息子の車で自宅を出発。スカイライン冬ゲートに到着、空いたスペースに車を止める。準備をし、足慣らしも兼ねてゆっくりと進む。裏道登山口へ来ると、ここから、雪が残っている。昨年より多い。雪道をゆっくり、ゆっくり後ろの様子を窺いながら登る。雪に慣れない妻は、恐る恐る一歩ずつ、慎重に歩いている。息子は、その後ろを淡々と進む。日向小屋を過ぎ、一旦下って、登り返すと藤内小屋だ。小屋の人曰く、「昨日は吹雪いていたが、今日は良さそうだね。」との事。小休止し、雪道のトレースの跡を辿っていく。藤内壁の見晴らし場所を過ぎ、勾配が急になる手前で、アイゼン装着。息子にアイゼンの付け方を教え、妻の装着を手伝う。滑らないアイゼンの感触を楽しむ様に、急勾配を登っていく。国見峠の手前で、妻が雪溜まりに胸位まで嵌り込み、息子にザック毎、引き上げてもらったとの事。少し、休む。国見峠を過ぎ樹氷のトンネルと、所々凍りついた道をカッカッとアイゼン歩行する楽しみを味わい、12時過ぎに山頂着。最高点へも足を運び、山頂付近を散策後、「御在所名物のカレーうどんを食べたい」とのリクエストでレストランで昼食(美味かった)。二人の歩行の様子から、中道からの下山に変更。旧傾斜の雪道に、思いきって入り込む。凍結部分もあり、アイゼンの爪を利かして慎重に下る。1か所、凍結した壁の様な箇所に出た。先を歩いていた人は苦勞して攀じ登った。さ

て、どうしようか? 垂れ下がったロープを使って登れそうか? 試してみるも、ロープが滑り、危険。“他に道がないか?”と、考えていると、上の方から、「下に道があるよ」と、先程の人からの助け船。慎重に狭い下の道へ逃げて、難を逃れた。キレット手前迄下りてきてアイゼンを外す。後は、一気にキレットを登り下って、地蔵岩、負ばれ石の奇岩を見て、林道歩きを減らそうと、中道から裏道への抜け道へ。1日、たっぷり楽しんで、充実の山行は終了した。



確認 (リーダー)	津田
作成 (報告者)	津田
	13.3.20
	13.3.20

リーダー所見  
昨年よりも雪が多く、凍結した箇所も多かった。多少スリリングな、雪山ハイイクを堪能する事ができた。妻も、息子も初体験のアイゼンではあったが、危なげなく歩いていた。息子に至っては、ストックをほとんど使う事無く、飄々と歩いていて、散歩気分だったとの事。二人とも、雪道を楽しめた様で、いい山行であった。